



ふらの花火大会 実行委員会

▶【写真】佐々木秋一さん



▶「第1回ふらの花火大会」。2,000発の花火が打ち上げられた。

市民がつくる花火大会 若者有志、職種越え一丸

昨年、市内で9年ぶりに開催された「ふらの花火大会」。『市民の一体感の創出』と『子どもたちの故郷の思い出づくり』にと市民が手づくりした花火大会は、市民に大きな感動をもたらしました。それから一年。主催の「ふらの花火大会実行委員会（上杉日出男実行委員長）」が第二回の開催に向け、始動しています。昨年同様、「市民による市

民のための花火大会」をコンセプトに、市内企業や市民から協賛金を募り、また、市内各所に募金箱を設置し、資金を集め、当日は、会場設営や誘導員など、観客の安全確保に細心の注意を払います。

特徴的なのは、実行委員のメンバー構成。商工業や農業、公務員など、さまざまな職種の若者有志が集まり、協力しながら開催に向け準備を進めています。上杉実行委員長は、「花火大会の実現には、多くの方の協力が必要だったし、これをきっかけに職種の垣根を越えたつながりを作ることができると思います」と将来を見据え、「横のつなが



▲商工業、農業、公務員など、さまざまな職種の若者有志で構成された実行委員会

り」を意識して実行委員会を組織しました。

「二回目となる今年は、昨年の課題を改善しながら、より魅力的なイベントにしていきたい」と語る上杉実行委員長。新たな取り組みとして、飲食コーナーや、ダンスと花火の共演などの企画を検討しています。

今年の日程は、8月17日（土曜）午後8時打ち上げ開始。打ち上げ場所は、空知川河川敷ソフトボール場付近で観覧場所は河川敷ラグビー場を予定。協賛金と募金の受付は、すでに始まっており、また、売り上げが資金に充てられる「大会オリジナルタオル」を当日会場で販売します。

上杉実行委員長は、「市民がつくる花火大会です。みなさまの協力が花火大会の成功の鍵を握っています」と協力を呼びかけています。



協賛金の振込先など詳細は、下記を確認ください。

ふらの花火大会ホームページ
<http://www.furanohanabi.com/>
フェイスブックページ
<http://www.facebook.com/FuranoHanabi>